2011年　平成23年

謹んで新春のお慶びを申し上げます
平素のご厚情に心より感謝申し上げます

第83号

発行所　酒井重工業株式会社

住所　東京都港区芝大門1－4－8

電話　03－3434－3401

FAX　03－3434－3419

発行人　加藤　孝

世界同時不況から2年を経て、皮膚感覚の景気水準もリーマンショック以前の8割程度まで回復して参りました。この経済回復の勢いに一服感がある中で迎える年明けとなりましたが、今年は、引続き旺盛な新興国需要や回復途上の先進国経済そして世界情勢の構造変化をチャンスとし、われわれ日本経済が新たな成長に向けて走り始める転換の年になることを心よりお祈り申し上げます。

酒井重工業株式會社　　代表取締役　酒　井　一　郎

昨年は政治も混沌として何かと暗いニュースが多かった一年でしたが、サカイニュースだけはできるだけ明るい話題を提供していきたいと編集員一同考えております。皆様に色々な意味で喜んで頂けるよう頑張りますので、本年も引き続きご愛読の程、宜しくお願い致します。

サカイニュース発行人　加藤　孝　及び　編集委員一同

2010 年度補正予算が成立、公共事業関係費は 5,857 億円、道路整備は 1,795 億円

菅内閣は、昨年10月8日の閣議で「円高・デフレ対応の為の緊急総合経済対策」を決定し、その実施措置として平成22年度補正予算を11月26日に閣議決定した。補正予算は昨年の第176回臨時国会で承認され、その概要は以下の通りである。

平成22年度一般会計補正予算内容		平成22年度特別会計補正予算内容	
一般会計補正総額	4兆4, 292億円	国土交通省所管　社会資本整備事業	
公共事業関係費	5, 857億円	治水勘定	462億円
治山治水対策事業費	（　513億円）	道路整備勘定	1, 795億円
道路整備事業費	（1, 250億円）	道路整備事業費	（1, 711億円）
港湾空港鉄道等整備事業費	（　290億円）	住宅都市環境整備事業費	（　64億円）
住宅都市環境整備事業費	（　302億円）	国債費	（　20億円）
公園水道廃棄物処理等施設整備事業費	（　26億円）	港湾勘定	69億円
農林水産基盤整備事業費	（　920億円）	空港整備勘定	29億円
社会資本総合整備事業費	（1, 854億円）		
災害復旧等事業費	（　702億円）		
国土交通省所管補正額	5, 051億円		
道路環境等対策費	（　82億円）		
*道路整備事業費	（1, 096億円）		
*北海道道路整備事業費	（　174億円）		
社会資本総合整備事業費	（1, 719億円）		
その他の事業費	（1, 980億円）		

上表、（　）内の数値は内訳を示し億円以下の数値は四捨五入。
*の事業費は社会資本整備事業特別会計へ繰入れ。

（財務省　平成 22 年度予算　補正予算成立　平成２２年度予算書の情報より　一般会計　http://www.bb.mof.go.jp/server/2010/dlpdf/DL201021001.pdf　、特別会計　http://www.bb.mof.go.jp/server/2010/dlpdf/DL201022001.pdf　参照　）

「円高・デフレ対応の為の緊急総合経済対策」の一環である、社会資本整備推進を図る為に施行する道路整備事業、北海道道路整備事業については、最近の経済・雇用状況等をかんがみ、経費財源を特別会計補正予算の社会資本整備事業、道路整備勘定に繰入れられました。

その道路整備勘定の主な歳出としては、

１、地域連係事業費　868億円（国が施行する高速道路・国道一般国道の地域連携推進事業、地方公共団体が施行する都道府県道等の地域連携推進事業に必要な事業費の一部補助）

２、道路交通円滑化事業費　504億円（国が施行する一般国道の交通円滑化事業、地方公共団体が施行する一般国道の交通円滑化事業に必要な事業費の一部負担）

３、北海道地域連携道路事業費 150億円（国が施行する高速道路及び一般国道の地域連携推進事業）

４、道路交通安全対策事業費135億円（国が施行する一般国道の道路更新防災等対策事業、交通連携推進事業、交通安全施設等整備事業、交通事故重点対策事業）

等となっており、地方経済の動向、地方公共団体の要望等に即しつつまた積雪寒冷地へも配慮した配分となっています。

GS Report ～グローバルサービス部によるベトナム技術講習会～

ホーチミン

ベトナムは東アジア・東南アジアのインドシナ半島東部に位置しており、国土は南北に長く約 1500km あります。北は中国、西にラオス、カンボジアと国境を接しています。首都はハノイで、最大の都市は南の商業都市ホーチミンです。概ね北部、中部、南部の 3 つに区分されています。ベトナムを訪問してまず驚かされるのがバイクの多さです。朝、夕方にはどこから出て来るのか、すさまじい量のバイクです。しかし意外と事故が少なく暗黙の交通ルールがあるのかわかりませんがなんとも不思議です。

皆さんご承知の通りベトナムは新興国の 1 つで経済成長がいちじるしい勢いで伸びています。国内のあらゆるところでビルやマンション建設、インフラ整備が行われています。ベトナム市場には新車をはじめ中古車の多くが納入されており道路建設現場のいたる所で SAKAI ブランドを目にすることが出来ます。その様な状況の中、サービス体制の強化は急務であり平成 22 年 11 月 22～27 日にベトナムのホーチミン市近郊で代理店のサービス担当者 27 名を対象とした土工用振動ローラ SV512D の技術講習会を開催しました。本体を構成する主要機器であるエンジン、走行用油圧ポンプ、油圧モータ、減速機、アクスル、ロールの分解、組立ての実技作業と本体における電気回路、油圧回路、トラブルシューティングの座学講習を行いました。参加されたサービス担当者は皆熱心に受講され成功裏に終える事ができました。現在弊社では 100 ヶ国以上の国と地域に販売しており益々増加していく海外市場においてサービス体制構築は不可欠です。ユーザの要求に応え満足度を向上させるべく今後も日々努力していきたいと思います。
ちなみに、ベトナムの料理はとてもおいしかったです。

座学講習

実機講習

ベトナム料理

バイクの洪水

点検・整備要領　～ハンドガイドローラーの冬場対策～

エンジン関係　燃料関係　本体関係　消耗品関係

今回の点検・整備要領は、冬本番を向かえ、ハンドガイドローラー（ディーゼルエンジン）を寒冷地で使用／保管する際の留意点を取り上げました。

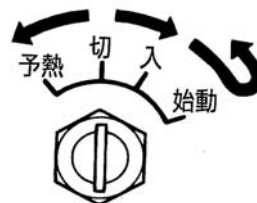
予熱の必要性

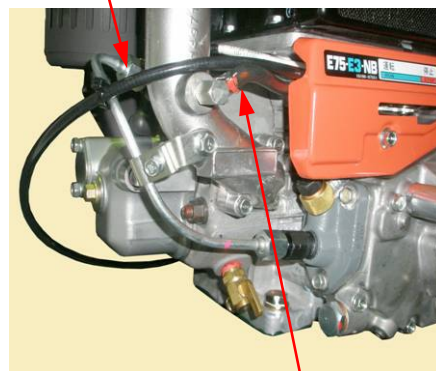
・　予燃焼室式クボタエンジンの始動ポイント

このエンジンは、燃焼室にグロープラグがついており、予め燃焼室内の空気を暖めることで始動が容易に行えます。外気温−5～−20℃では10秒間予熱を行って下さい。−5℃以上でも5秒間の予熱を行ってください。

従来のクボタエンジンには、ジェットスタートが装備されていましたが、現行エンジン（E75-E3）では、燃焼室の改良により外されています。

※予熱を長くしてセルモーターのクランキング時間を短くする事がバッテリーの消耗を抑えられます。

※始動後の暖機運転もお忘れなく！！

クボタエンジン搭載車

グロープラグの位置

従来のジェットスタートがあった位置

エンジンオイルの役割

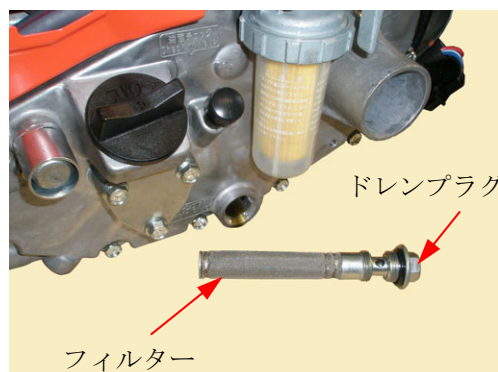
・　低粘度のエンジンオイルの効果

エンジンオイルの役割は、潤滑だけでなく冷却、清浄、密着、酸化防止の役割も果たしています。特にディーゼルエンジンのオイルは、軽油に含まれる硫黄によって早期に酸化することと、ガソリンエンジンに比べて、黒煙の“スス”混入による粘度増加が著しい為、早めの交換が必要です。

エンジンオイルは、始動場所の外気温度と同様に0℃以下になります。低温になると粘度が高くなりますので、エンジンの回転抵抗が大きくなり、かかりが悪くなります。

冬場のエンジン始動性を向上させる為には、粘度の低いエンジンオイル（一般的にマルチグレードタイプと呼ばれる10W-30）に交換することが有効です。

※エンジンオイル交換時には、オイルフィルターの清掃もお忘れなく！！

オイルドレンプラグを取外すと、写真の様にオイルフィルターがセットされています。このフィルターは、軽油で洗浄しスラッジなどの不純物を除去することにより、エンジンオイルのスムーズな流れが可能になります。

ドレンプラグ

フィルター

エンジン関係　燃料関係　本体関係　消耗品関係

燃料

・　寒冷地における軽油の使い分け

低温時の経由は、流動性の確保が必要です。温度が下がると、軽油はワックス分の結晶を析出し燃料フィルターが詰まるようになります。更に温度が下がると、燃料タンク内の軽油全体が固まったような状態になり、燃料パイプの中を流れにくくなります。この様な場合は、右表に示す軽油の使い分けが必要です。軽油交換の際は、燃料フィルター内の軽油を使い切るか排出して下さい。

気温	ディーゼル軽油
-10℃以上	JIS2 号
-15℃～-20℃	JIS3 号
-25℃～-30℃	JIS 特 3 号

※始動性の向上の為には、軽油交換の際は燃料フィルターの清掃もお忘れなく！！

※フィルター清掃作業後には、エア抜きが必要になります。取扱説明書をご確認下さい。

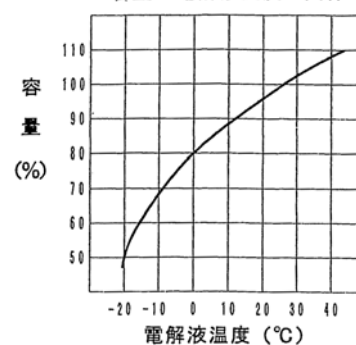
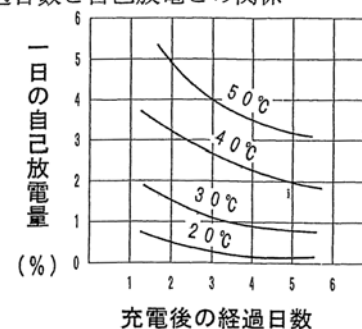
バッテリー液

・　バッテリー液の残量確認と補充電

冬場のバッテリーは、電解液温度が下がると容量が低下します（図参照）。また、長期間使用しないと自己放電（図参照）によりバッテリー上がりの原因となります。本機ではメンテナンスフリーバッテリーを採用していますが残量確認（不良は交換）と補充電をお勧めしています。

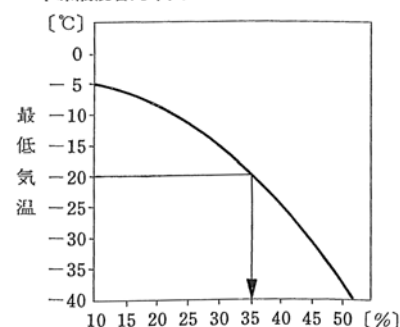
※休止中の機械は、バッテリーを外して、補充電後、乾燥した場所で保管して下さい。

※充電方法は、必ず取扱説明書をご確認下さい。

※新品のバッテリーに交換する場合は、推奨容量のものをご使用下さい。

冷却水

・　冷却水の確認

冷却水は氷結すると、シリンダーやラジエターを破損することがあります。長期間使用しない場合は、冷却水を完全に抜くか不凍液を注入して下さい。本機は、工場出荷時外気温-20℃以下の使用条件を考慮してロングライフクーラントを混合注入してあります。また、クーラントの有効期限は 2 年ですので有効期間を経過した場合は継ぎ足しせずに交換をお願いします。

※混合比は、右図を参考にして 50%を超えないようにして下さい。混合比率が高過ぎると、冷却水の沸点が上昇し、エンジンの焼付きやラジエター破損の原因となります。

ある町この道　シリーズ⑨　～埼玉県鴻巣市国道17号～

人形の町旧中山道鴻巣宿

国道17号線は、東京日本橋から新潟市へ至る総延長284.6kmの国道です。

一方中山道は、同じくお江戸日本橋から群馬の高崎、長野、岐阜を経て京都三条大橋までの532.8kmを有します。この内、日本橋から高崎までの区間が現在の国道17号線となっています。

中でも鴻巣宿は、中山道六十九次の日本橋から数えて7番目の宿場で東松山、行田、加須方面への交通の要所として比較的大きな宿場だったようです。

関東平野のほぼ中央に位置する鴻巣市は、江戸時代中期頃から農閑期に雛人形作りが盛んになりました。雛人形作りの歴史約380年の中では、江戸時代に11軒だった雛人形屋が、明治時代には31軒となり繁栄は頂点に達し、職人の数も300人であったと言う記録が残っております。

現在では、9軒の雛人形屋が市内の旧中山道沿いに軒を連ね、桃の節句、端午の節句に合わせて雛人形や武者人形が飾られ、歴史の町がにぎわいます。鴻巣市役所のロビーにも、毎年大きな段飾りが展示され、色々なイベントが企画されています。

ちなみに鴻巣市には、弊社の関東営業所と子会社である東京フジ㈱（小型機製造）があります。

What is this?　～ピーターって何？～

当時の販売資料

新潟県上越地方において、降り積もった雪を吹き飛ばすロータリー式除雪機の「ピーター」。その名前の由来は、上越に住む人たちの中ではあまり知られていません。1963（昭和38）年1月の記録的豪雪をきっかけに日本の湿った重い雪に対応した除雪機の開発が要求されました。当初、活用可能な国産技術はなく海外の技術を活用しましたが、1964年に酒井重工業の前身である酒井工作所がスイスのスコットランド・ピーター社との技術提携によりロータリー式除雪車を開発しました。三菱製特殊作業車2W400を本体とし、前方に除雪装置を装備し、荷台にその動力源エンジンおよび変速機を搭載したセパレート形のものでした。この除雪車の製品名が「ピーター」であり、その後もブルドーザやショベルローダ等にする形式のものや投雪シュートからの排雪を道路一車線上で後方の運搬車に積み込みのできるローディングスライダ形式も開発されていきました。当時、酒井重工業が「サカイ・ピーター」と書かれたカタログで売り込みを熱心に行ったことで、大量の積雪を吹き飛ばす除雪車の事を「ピーター」という愛称で呼ばれた事が由来のようです。当時から上越地方の方がたに親しまれていたんですね。